

青山学院大学 物理・数理学科 コロキウム

2015年度 第8回

下記の通りコロキウムを企画致しました。学生や分野の違う方にもわかるレベルから始めて下さるようお願いしてあります。

是非ともご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

(世話人：竹内 祥人、連絡先：042-759-6550)

講演者 中村 卓史氏(京都大学大学院 理学研究科 物理学第2教室)

日時 10月29日(木) 午後1時20分から

[いつもと時間が異なります]

場所 青山学院大学 理工学部 L棟6階 L603室

講演題目 「間近に迫った重力波の初検出—その過去、現在そして未来—」

アインシュタインが一般相対性理論の基礎方程式を導いたのは1915年11月25日であった。アインシュタインがこの方程式に基づいて重力波の存在を予言してから100年近くになるが、まだ直接観測されていない。一方、1974年にハルスとテーラーによって連星パルサーが発見され、その後の15年のパルサーからの電波のデータ解析で、重力波の存在そのものは間接的に証明されているが、その伝搬速度等の諸性質の実験的検証はなされていない。我が国では、1988年から重力波を直接観測すべく3km×3kmのレーザー干渉計を建設する活動がはじまり、終に本年からKAGRAと言う愛称の装置で観測が始まろうとしている。その検出ターゲット、将来の展望を解説する。

[1] 数理科学 2015年12月号に解説記事が掲載予定。
